

三条別院のご案内

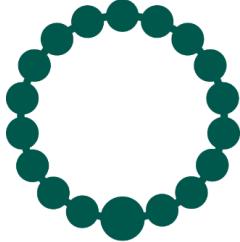
MONTHLY NEWSLETTER FROM
SANJO-BETSUIN 2025.12

Tel 0256-33-0007 E-mail sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp HP <https://sanjobetsuin.or.jp>

三条別院に想う

▲今回は本堂・庫裏落慶法要を宗祖 750回御遠忌法要と兼修で勤めたばかりの渡辺氏より執筆いただきました。

渡辺 正志 氏 (第24組正念寺住職)



本年も三条別院の御取り越し報恩講が円成しました。

私は組長の役目もあり二座の内陣出仕をさせて頂きました。

約12年前、非常勤列座として1年半程を勤めていたこともあります。何人かの列座さんとは顔見知りですので三条別院は身近に感じておりますし、その縁もあり退職してからも毎年ご門徒と報恩講には参詣させて頂いております。

先日、当山では約4年半に渡る本堂・庫裏の再建工事が終了して、列座さんにもお手伝い頂き無事落慶法要を厳修致しました。この建設で一番大切にしたことは、ご門徒や縁ある方が使用する本堂と庫裏にすることでした。具体的には、法事はもとより葬儀を執り行えること、それに加えお寺で亡骸を安置できる場所を設けました。以前よりお寺での葬儀を推進しておりましたので、多い年では1年間で葬儀の約7割のご門徒が利用されました。

私が小学校低学年の頃、自坊の報恩講というと本堂いっぱいの参詣の方があったことをよく覚えております。私は一人っ子でしたので、遊んでくれる方が大勢来たと勘違いしておりましたが、賑やかで楽しい時間であったことを毎年思い出します。

本堂・庫裏の建設には、年々少なくなる報恩講の参詣者を一人でも多くの方に来て頂きたいことが「ねがい」でもありました。お寺で通夜、葬儀を行うことは、ご門徒やそのご親族の方と多くの時間を共有することで、平素のお参りでは気付かない事や新たな発見を見聞きすることで、その後も親しく接して頂けるようになりました。

葬儀の準備や後片付けなどは坊守にも負担を掛けておりますが、お寺は住職のものではなく、ご門徒のものもあることを伝えて理解を得ております。

長年に渡る建設中には、計画前から私の相談に乗り、共に悩んで頂いた大切な門徒役員の葬儀もございました。本堂・庫裏にて、一人でも多くの方とお念佛の教えを聴き、共に先んじて諸仏になられた身近なご門徒を偲び、私と遊んでくれる賑やかで楽しい報恩講に日々勤めてまいりたいと思っております。

三条別院でも当山でも来年も再来年もその先も報恩講が勤まります。
「おめさん そろっと参ろうて！」

追伸 本堂・庫裏の見学や寺院葬儀について遠慮なく是非お問い合わせ下さい

メールアドレス shounenji24@gmail.com 電話番号 025-752-2502

○次回の「三条別院に想う」は比叡谷 紗誓氏（京都教区徳乗寺）よりご執筆いただきます。



【正念寺本堂・庫裏】

三条別院お取り越し報恩講円成報告



▼お取り越し報恩講 11月5日（水）から8日（土）まで

本年の三条別院お取り越し報恩講は快晴の4日間で、11月5日のお待ち受け音楽法要を皮切りに厳修され、6日初日中からは信教院殿（随行は坂谷堂衆）が御参修され、8日結願日中をもって円成しました。5日・6日の露店に加え、本年は7日に商工会議所青年部主催の「甘味の陣」が開催されたり、慶讃記念事業の本山教学研究所所員による「坂東本解説」が開催されたり、賑やかなお取り越しとなりました。



各組からの団体参拝も少しずつ増え、高田エリアからの参拝や他教区からの参拝もありました。

本年も準備のおみがき・清掃奉仕から事前準備まで、実行委員中心に多くの方に参加していただきました。



【御満座の挨拶をされる信教院殿（左）と法話講師の乾 文雄氏（右上）、沙加戸 弘氏（右下）】

三条声明会を中心とした助音方、三条雅淨会、高田雅遊会、内陣・余間には教区内寺院方、式支配・掛役、報恩講執行スタッフとして、坊守会、推進員の皆さん、別院有志の会、女性研修会、児連・若仏スタッフ、立花スタッフ、女聲助音、合唱団、お斎調理・配膳の皆様、お土産売り場には協力店の皆様、その他の多くの方々にお力添えいただきありがとうございました。紙幅の都合上、記録写真の一部をもってお伝えいたします。記録写真は順次ホームページにアップ予定ですのでご覧ください。



【晨朝法話講師は崇敬区内から、佐々木 晋子 氏（左）、朝倉 奏 氏（中）、山宮 修靈 氏（右）】



【シアターサンジョゴボー「汽水域」】



【『御伝鈔』（上巻）長田 暢 氏】



【『御伝鈔』（下巻）長田 淨見 氏】



【藤懿輪番】



【坊守会役員の皆さん】



【親鸞聖人の御影前で『御伝鈔』拝読】

12月1月 行事予定

基本どなたでもお参りいただけます。
事前申込や参加費が必要な行事は記載がありますので、
ご確認の上、お参りください。



▼定例法話会

田村 大輔 氏 (第20組専念寺住職)

12月13日 (土) 13時30分から15時

毎月 13 日の闡如上人のご命日にあわせて定例法話会を開催しております。
いずれも 13 時 30 分から 14 時 30 分、その後 30 分ほど座談会

◆内容 「報恩講」について

◆会場 三条別院旧御堂

▼宗祖御命日のつどい

桑田 正寛 氏 (第10組西方寺) 「2帖目第13通 (御袖)」

12月28日 (日) 10時から12時

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月 28 日に「御命日のつどい」を本堂にて日中法要、その後旧御堂にて法話・座談会の場を開いております。

なお前日 (27 日) はお逮夜法要を 13 時 30 分よりお勤めしております。

◆会場 三条別院 本堂・旧御堂

◆お勤め (御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下

念佛讃 淘五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

▲『御文』2帖目をテーマにしております。

▲10 時 30 分から 11 時 30 分まで法話。その後座談会を設けております。講師を囲んで語り合いましょう。

◆今後の講師一覧

1月 未定

▼御煤払い奉仕団

12月14日 (日) 9時から12時

当別院では毎年 12 月に、一年で溜まった埃を払う「御煤払い奉仕団」を開催しております。どなたでもご参加いただけます。御本尊、宗祖真向の御影 (まむきのごえい) の御煤払いの後、皆さんで内陣を清掃する、一年に一度の恒例行事ですので、ぜひご参加ください。

◇場所 三条別院本堂

◇持ち物 勤行集、念珠、

◇締切 12月12日 (金) までに当別院までご連絡ください。

◇冥加金 500 円 (お弁当をご用意します)





▼除夜の鐘・修正会

除夜の鐘 2025年12月31日(水)午後11時45より

◇場所 三条別院鐘楼堂

◇受付 三条別院旧御堂



修正会 2026年1月1日(木)深夜0時より

除夜の鐘が鳴る中でのお勤めです。ぜひ本堂にお参りください。

◇場所 三条別院本堂・旧御堂

○お勤め後、輪番による新年の挨拶

その他の講座案内＆随時募集中



○別院声明教室

夜の部(18時～20時) 昼の部(15時～17時)

開催日(全5回)

昼の部講師 別院列座 夜の部講師 倉井 光弥氏(中越11組養泉寺)

~~8月26日(火)(済)、9月19日(金)(済)、10月14日(火)(済)~~

~~11月14日(金)、12月16日(火)~~

昼の部は赤本(正信偈草四句目下念讃淘三)、日常法務、夜の部は高僧和讃・正像末和讃の繰読みです。日程は同朋会館のチラシをご覧ください。

○別院書道教室(東友会)

[毎月第2、第4水曜日 18時30分～20時]

講師 木原 光威氏(新潟県書道協会理事) 月謝3,500円(テキスト代含)
条幅教室、篆刻教室、等も随時行っています。

○有志の会庭講 [毎月13日]

ご一緒に別院のお庭を整備していきませんか？毎月13日10時から、午後は定例法話を聴聞します。1月と8月は休会です。

【活動報告】

11月13日(木)は恒例となったお取り越し報恩講後の紫幕・五色幕の片づけと藤棚の調整と冬囲いを一部行いました。12月13日(土)に残りを完成させる予定です。ぜひご参加ください。

○有志の会花講

花講は別院の立花を、有志の会は別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

○別院奉仕研修について

【奉仕研修冥加金】

1人あたり半日(午前または午後)500円、1日1,000円

1泊2日は上記の冥加金に順じて半日500円で計算する。

【その他実費でいただくもの】

①講師謝礼 列座によるお内仏のお給仕・法話を研修冥加金に含まれる。

②シーツ等クリーニング代1,000円

③食事代 ご要望等ございましたらご相談承ります。

○団体参拝及び諸殿拝観について

列席が諸殿拝観などを行います。日程等お気軽にご相談ください。

○フードバンクを継続募集中

11月の別院フードドライブは匿名含め多くの方々にご協力いただき御礼申し上げます。次回引き取り予定日は12月24日（水）です。

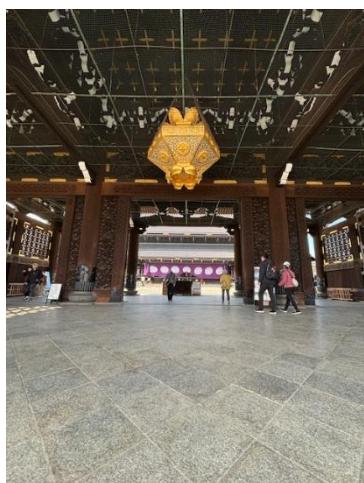
【報恩講パンフレットの誤植について（お詫び）】

2025年お取り越し報恩講パンフレット21頁「帰敬式を受けましょう」で受式者1名の所属寺が記載されておりませんでした。正しくは、

第20組 常明寺（新潟市東区）門徒

法名【釋尼応信】保田 信子さん（74）でした。

編集後記



三条別院お取り越し報恩講が無事に御満座を迎えたところで、事務所内でも風邪やインフルエンザが流行し始め、急遽御正忌団体参拝の引率を仰せつかることとなった。

今年は21日の御正忌報恩講讃仰音楽法要への参拝を中心に計画されており、別院報恩講の合唱団員の皆さんも数名参加され、行幸に井波別院瑞泉寺、2日目に山科別院長福寺、帰りの3日目に五箇山の合掌造り集落に立ち寄るという行程であった。

他にも西本願寺にも参拝したが、東本願寺御正忌報恩講の参拝をしているこの身としては、岐阜県から富山県へと抜ける道は赤尾→五箇山→城端別院→井波別院と続くルートで、8代目蓮如上人の教化の根付いた地域を訪れ、また地域の別院にお参りできることに幸せを感じた。

少し話は変わるが、最近「自由意志はあるかないか」という議論をあまりしなくなったかもしれない。「将棋の棋士がAIと対戦した時、相手がAIだと知らされないと、意志を持った人間のように思ってしまう」という話があったのは10年以上前で、人間が負けるのが当たり前になつた今、能動的な自由意志と受動的な機械の境はますますわからなくなってきたように思う。

そんなこと也有つてだろうか、私は元来「自由意志は無い」といつてすべてに手をあわせてしまうような素朴な信仰は本来好きではなく、そのようなものとして「妙好人」は好きではなかったが、最近少し考えが変わってきた。

今回も、険しく雪深い山奥で生きていくには、いろいろな自発的な知恵が必要であつただろう。そうであれば、彼らの考えていた他力への信仰とは素朴で受動的なものだけではありえないのではないか、と「赤尾の道宗」も住んだであろう合掌造りの集落をみて、ぼんやり考えたのである。

あらためて、真宗について、生活の中で静かに考えてみたいと感じた。

すると、「熊対策もどうするか考えないといけないな」と頭をよぎってきた。やはり私の頭はぜんぜん静かではない。



（斎木）